

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 会計学の指導教員を第1希望とする場合は、問題5, 6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
4. 試験問題についての質問は、受けつけません。
5. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください(氏名は記入しないでください)。
6. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
7. 解答は、日本語で行ってください。
8. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

ネットワーク外部性 (network externality) とは何かについて、具体的な事例を用いながら説明しなさい。その際、「直接効果」「間接効果」という二つの用語を必ず用いなさい。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 2

内発的動機づけの理論について説明したうえで、従業員の内発的動機を高める施策／低下させる施策について議論しなさい。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 3

以下の2問すべてについて解答せよ。

- ある病院では、緊急入院する患者が、1日平均4人いる。緊急入院する患者数がポアソン分布に従うとする。このとき、以下の問いに答えよ。ネイピア数の計算が必要な場合は、表1を用いること。
 - 1日に緊急入院する患者が1人もいない確率を求めよ。導出過程についても記述すること。
 - 1日に緊急入院する患者が3人以上の確率を求めよ。導出過程についても記述すること。

表1

x	1	2	3	4	5	6	7	8	9
e^x	2.7	7.4	20.1	54.6	148.4	403.4	1096.6	2981.0	8103.1

- ある企業が新型の電気自動車を作成した。この電気自動車16台を無作為抽出して、1回の充電による走行距離を調べたところ、標本平均が100kmで、不偏標本分散の平方根は80kmであった。また、この電気自動車の1回の充電による走行距離は正規分布に従うとする。この電気自動車の目標とする1回の充電による走行距離は80kmであった。ここで、この電気自動車の1回の充電による走行距離が目標を超えているかどうかについて検定を行いたい。このとき、以下の問いに答えよ。ただし、必要があれば以下の数値を用いて計算せよ。
自由度15の t 分布の上側5%点=1.753、自由度15の t 分布の上側2.5%点=2.131
自由度16の t 分布の上側5%点=1.746、自由度16の t 分布の上側2.5%点=2.120
 - 帰無仮説と対立仮説を記述せよ。
 - 検定統計量の実現値を「数値」で答えよ。導出過程についても記述すること。
 - 有意水準5%で検定を行え。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

以下の用語について簡潔に説明せよ。

- (1) 最尤法
- (2) 有意確率 (p 値)
- (3) 回帰分析における決定係数
- (4) ロジスティック回帰分析

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

次の(1)及び(2)に答えなさい。

- (1) 「企業会計原則」の一般原則の1つとして、「継続性の原則」が挙げられている。
継続性の原則が何を要請する原則であるのかを説明するとともに、なぜこの原則が求められるのかを説明しなさい。
- (2) 有形固定資産の減価償却の意義と減価償却の自己金融効果を説明しなさい。そのうえで、配当を行うことがない組織における減価償却の自己金融効果について言及しなさい。

2022年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

以下の問いに答えなさい。

- (1) ABM (Activity-Based Management) について、その内容を説明しなさい。
- (2) ABC (Activity-Based Costing) と ABM の関係性を述べ、これら2つの管理会計技法の本質的な違いを指摘しなさい。